

第59回南日本新聞社杯ナイターソフトボール大会 実 施 要 項

1. 趣 旨

ソフトボールを通じて職域相互の親睦と明るい職場づくりを推進し、体力向上をはかる。

2. 主 催

(一社)鹿児島県ソフトボール協会、南日本新聞社

3. 共 催

鹿児島県、鹿児島市

4. 主 管

鹿児島市支部ソフトボール協会

5. 後 援

鹿児島県教育委員会、鹿児島県市長会、鹿児島県町村会

6. 会期と会場

- | | |
|---------|---|
| (1) 大 会 | 7月1日(水)から9月12日(土)まで。フレッシュ青果スポーツランド(クレー広場)、鹿児島市大峯公園、他
(フレッシュ青果スポーツランドは、8/1～8/31まで照明工事の為使用できません) |
| (2) 抽選会 | 6月13日(土)15時から鴨池公民館で公開代理抽選とする。 |
| 開会式 | 実施しない、 |
| 決勝戦 | 9月12日(土)単独11時・混成14時 SuMIzei PARK (予備日)9月13日(日) |
| 閉会式 | 9月12日(土) 決勝戦終了後行う |

7. 参加規定

- 出場希望チームは次の単独、混成どちらか一方に申し込む。
(イ) **単独チーム**＝鹿児島県内の同一団体(会社、商店、工場、官公庁等)の職場の勤労者及び同一大学・同一専門学校単位で編成したチーム。
(ロ) **混成チーム**＝県内の勤労者及び大学生・専門学校生で編成したチーム。
- 女子及び勤労学生も参加できる。
- 登録チームメンバーは他のチームから出場することはできない。**登録選手以外の者を起用したり、故意に虚偽の登録や二重登録をしたチームは発覚の時点で失格とし翌年の大会への出場を停止する。
- 出場希望チームには1人以上の公認指導者がいなければならない。

8. チーム編成

- チームは監督1人、コーチ2人、選手25人以内とする。スコアラー、トレーナーも登録する。
(申込み後の選手変更・ユニホームナンバーの変更はできない)
- 監督及びコーチが選手として出場する場合は、25人の選手の中に登録されていなければならない。
- 同じ名称で1チームしか出場できない。チーム名は単独チームの場合は原則として職場名か学校名とする。

9. 試合方法

- 規則は2026年オフィシャルソフトボールルールを準用する。
- 試合開始は19時とし、トーナメント方式(7回戦)で90分を超えて新しいイニングに入らない。単独、混成別々に組み合わせを行う。
- コールドゲームは3回15点差、4回10点差、5回以降7点差とする。
- 7回で同点の場合は、タイブレイクとし、終了予定時間までに勝敗が決しない場合は、9人による抽選とする。
- 雨天もしくは次の試合の開始予定時刻を過ぎても終了しないときは、コールドゲームを適用することもある。また、雷鳴等により試合続行不可能と判断される試合は、サスペンデッドゲームを適用することもある。
- 試合球は日本ソフトボール協会検定のナガセケンコー(髹製12inchゴムボールを使用する。ただし試合ボールは試合ごとに各チームがニューボール1個ずつ提供する。(試合終了後両チームへ返却)
- チームは試合開始時刻30分前に会場に到着し、オーダーを試合会場の本部に提出する。大会運営上試合開始予定時刻が早くなることもある。試合開始予定時刻を経過しても到着しない場合は失格とする。(ただし事前連絡により不可効力と認めたものはこの限りでない)

10. 大会申込み方法

- 所定の申込み用紙2部(南日本新聞社とソフトボール協会支部に準備)に記入のうえ、申込金4,000円と参加料19,000円(傷害保険料を含む)合計23,000円を添えて6月5日(金)までに(期日厳守)一般社団法人鹿児島県ソフトボール協会に申し込む。申し込み後、不参加の場合でも申込金、参加料とも返却しない。
- 申込書は単独チームが所属長、混成チームがチーム責任者の証明を必要とする。
- 一般社団法人鹿児島県ソフトボール協会ホームページより申込用紙は、ダウンロード出来ます。
<https://sites.google.com/view/ksa46/>

11. 大会申込み送付先

- 現金書留での申込
〒890-0023 鹿児島市永吉1-8-5 一般社団法人鹿児島県ソフトボール協会
- 銀行振込
鹿児島銀行 城西支店 普通 3064650 一般社団法人鹿児島県ソフトボール協会
- 選手名簿送付先
Email: k-softball@po5.synapse.ne.jp

12. 表彰

単独・混成決勝大会＝優勝チームに賞状、優勝旗、優勝杯、副賞。準優勝チームに賞状、準優勝杯、副賞。3位チームに賞状、副賞を贈る。

13. 傷害措置

出場選手が試合中傷害を受けた場合、主催者は傷害保険の範囲内の保障と応急措置のほかは責任は負わない。

14. 注意事項

- 雨天その他、大会運営上の都合で、試合日時と会場を変更することもある。
(但し、中止の最終決定は当日会場で行う)
- 捕手は危険防止のため、捕手用ヘルメット、スロートガード付マスク、ボディプロテクター、レガースを必ず着用すること。また選手はスパイク(金属スパイク・セラミックスパイクは不可)をはき、服装はユニホームに限る。(同一チームは統一服装)
- 危険防止のため打者、次打者、走者ともにヘルメットを着用する。
- 選手の交代は監督が球審に届ける。
- 試合中、抗議できるのは監督のみとする。
- ベンチは抽選番号の若い方を1塁側とする。
- 選手は全員背中と胸にユニホームナンバーを付けること(数字の大きさは背中中は15cm以上、胸は6～12cm以下)。但し監督は30番、主将は10番、コーチは31番・32番、他プレイヤーは1～99番とする。
- 選手はフェアなプレーをするよう特に心がける。(主催者と審判団で協議して危険なプレー、アンフェアなプレーなど、選手としてあるまじきプレーが続く場合、当該選手、チームに対して出場を停止することがある)
- 閉会式には必ずユニホームを着用する。
- 各チームは、責任をもって熱中症対策を講じること。
- 試合終了後は各ベンチ内、及び応援席を清掃しゴミは各チーム必ず持ち帰る。
- 公園、グラウンドの規則(喫煙場所等)を遵守する。他の利用者の迷惑とならないようマナーを守る。
- 試合会場付近の路上駐車は絶対しない。
- こまめな水分補給など熱中症予防対策を各チームで徹底すること。